



東日本ユニオンNIIGATA

http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/



2018年6月2日発行

第65号（通巻249号）

JR東日本労働組合新潟地方本部
発行者：星山 圭 編集者：教育・広報部

JR労働者の強い思いを訴える！ 第1回目交渉を開催！ 2018夏季手当 満額獲得するぞ！⑦

JR東日本労働組合は、5月31日に「2018年度 夏季手当に関する申し入れ」の第1回目の団体交渉を行いました。交渉団は要求の趣旨を説明し、現場で日々働くJR労働者への会社からの満額回答に向けた強い思いを訴えました。

組合側の趣旨説明（要旨）

JR東日本2017年度期末決算の成果は、経営側の掲げる「横断的重點課題」を我が物として、安全安定輸送を基礎に地域と密着した経営施策を実践することで収益をあげてきた。効率化を担う中でさらに働き方を工夫し、主体的にコストを削減することで利益を確保するために努力したJR労働者の生み出した結果に他ならない。

すべてのJR労働者が次代のJR東日本グループを創りだす決意に立ち、日々の仕事の変革を担い、仕事の質を高め続けていることで実現させた今期の成果に対し、経営側は夏季手当要求の満額回答を通して応分の配分を行わなくてはならない。

この間も新技術や新たな仕組みの導入に伴う効率化施策が進められる一方で施策に伴う新たな業務が次々と発生し、労働者数の減少に伴い1人当たりの業務量は逆に増加している。

また、効率化施策に伴う業務委託の増加によりグループ会社・パートナー会社の業務量も増加し、本体に働くJR労働者、エルダーとして働くJR労働者とともに労働密度は加速度的に高まりつつある。

回答を導き出す結果の場面において、一つは整合性のある数字、理解と納得のできる数字というものをしっかりと導き出す必要があるし、もう一つはモチベーション、やる気ということについても経営側は無視してはならないということについては強く述べる。

夏季手当というのは一時金という性質を帯びていて、業績運動ということを一番の肝に据えて結論を導き出すべきだということについては普遍的な概念だと思っている。

第2回目交渉は、6月8日(金)13時30分から開催！